

2021年9月1日

各 位

株式会社ドーン

大阪市消防局で映像通報システム「Live119」の本運用を開始

株式会社ドーン（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：宮崎 正伸）が提供する映像通報システム「Live119」が大阪市消防局において採用され、運用されることになりました。

同消防局では、「ライブ映像 119（映像通報システム）」として2021年10月1日より運用をスタートし、指令情報センターが受け付ける119番通報の見える化を実現することとなります。

当社の「Live119」は、昨年7月の提供開始以来、機能性・操作性について高い評価を受け、各地の消防本部で導入又は導入に向けた検討が行われています。既に実際の緊急通報で映像通話が行われ、救急・火災の多くの事案において現場状況の把握や通報者への口頭指導のために有効に活用されています。

＜映像通報システム「Live119」の利用イメージ＞



※ 「Live119」は、株式会社ドーンの登録商標です。

※ 当社報道発表資料

- ① 2020年7月9日付「神戸市消防局・小野市消防本部で映像通報システム「Live119」の本運用を開始」 (<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/23030/16e6fee2/e529/443c/8418/715ef670b558/140120200709459754.pdf>)
- ② 2020年9月4日付「東京消防庁で映像通報システム「Live119」を試用運用—映像を活用した口頭指導を検証—」 (<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/23030/38b5e74d/e1de/4944/815f/68764981dc7f/140120200904489251.pdf>)

「Live119」は、119番の通報者がスマートフォンによるビデオ通話を行い、通報現場の状況を撮影し消防に伝送するシステムです。消防の通信指令室から通報者の発信元電話番号に宛てて映像通話の依頼が通知され、案内されたウェブサイトが通報者が表示するだけでビデオ通話が開始される仕組みになっており、一般市民にとって心理的な余裕がない緊急のシーンでも簡単な操作で利用できるよう配慮しています。

5G時代の到来により今後、映像通信の利用の広がりが見込まれるなか、この技術がさまざまなシーンで市民生活や安全の確保に役立つことが期待されます。当社は今後も、様々な空間情報技術を活用した新しいサービスの展開を積極的に進め、安心安全な社会の実現に貢献してまいります。

以上

<株式会社ドーンについて>

空間情報技術を活用した次世代ソリューションを提供し、警察消防、自治体防災、社会インフラ保全等の分野における DX 化を推進しています。

<本リリースに関するお問合せ先>

株式会社ドーン管理部 IR 担当（TEL : 078-222-9700 E-mail : dawn@dawn-corp.co.jp）